

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	無意識に行ってしまう利用者への対応を拘束と気づかない自分達のケアを振り返り拘束の意味を理解していく必要がある	拘束についての理解を深め意識を持ってケアを行える。	1. 拘束についての勉強会を職員全員が受けられるようにする。又、学習されたことが、個人に意識つけられるよう絶えず振り返りが、できるようにする。振り返りの策として拘束に関する研修報告、6カ月毎、拘束に関するレポートを提出を行う	12ヶ月
2	33	重症化していく利用者への思いは、バラバラで其々の思いが交差している場面がある。尊厳のある最期とは、どういうことなのか？一同で考えを一致していく必要がある。	人間の尊厳を理解し看取りを受容できる。	1.利用者が重度化してきたところで家族、介護職医療職、看護職とのコンセンサスマーケティングの開催、個人のマニュアル作成 2. 看取り後のグリーフケアの充実、介護職員との話し合いを持つ	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。